

学校説明資料

[公開日] 2025年4月



情報科学芸術大学院大学

Institute of Advanced Media Arts and Sciences

特色と概要

本学の特徴

- 「科学的知性と芸術的感性の融合」が建学の理念、総合的な知を探求し、新しい文化を提案する岐阜県立の大学院大学
- **メディア表現**研究科1専攻、博士前期課程[修士]+博士後期課程[博士]
- アート、デザイン、工学、社会科学など多様な分野の**領域横断を研究実践**

科学的知性と芸術的感性の融合とは

- 単に科学と芸術という異なる分野を掛け合わせるという意味ではない
- テクノロジーと社会の関係を踏まえつつ、自ら社会と向き合い、実践により裏付けされた真の価値を深く洞察する研究活動
- 多様な領域を横断しながら、つくることを通じて「**制作の知**」を見出し、新たな文化の創出へ貢献すると同時に社会を先導することを目指す

課程

- **博士前期課程：修士（メディア表現）**
 - [在学] 2年間 社会人短期在学コース 1年間
 - [定員] 40人(1学年20人×2学年)
- **博士後期課程：博士（メディア表現）**
 - [在学] 3年間
 - [定員] 9人(1学年3人×3学年)

卒業生 (IAMAS Graduate Interviewsより)



ウエヤマトモコ (音と人・ミミ島 代表)



内田聖良
(コンテンポラリーサーキットベンダー/美術家)



菅野創+加藤明洋+綿貫岳海
(《かぞくっち》プロジェクト)



高尾俊介 (クリエイティブコーダー)



平塚弥生
(フードビジネスコンサルタント, 株式会社Coneru代表)



真鍋大度 (株式会社Rhizomatiks取締役)

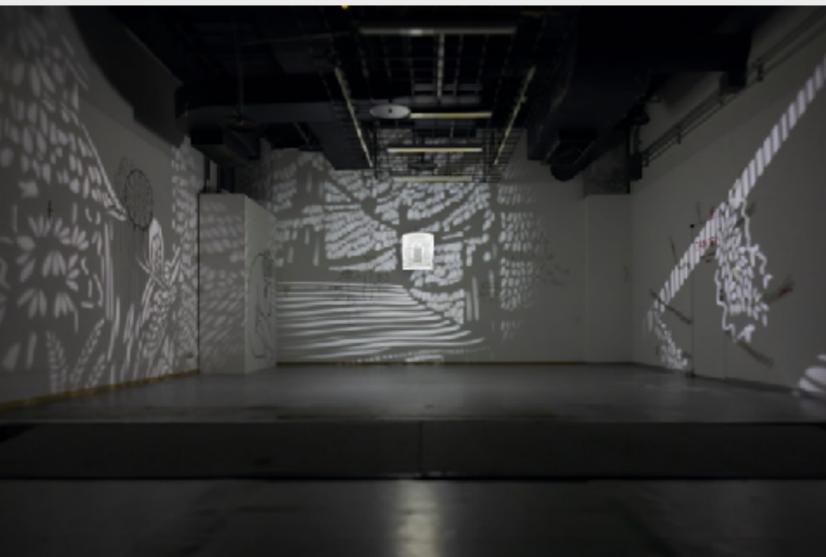


三原聡一郎 (アーティスト)



山辺真幸 (データビジュアライズデザイナー)

これまでの研究 (IAMAS Annualより)



カルティカメノン 《オートエスノグラフィーによる「慣れ」のプロセスの理解》



今谷真太郎 《コマの形態変化に着目した AR を用いたマンガ表現の研究》



縦山智子 《その時代その場所における不透明性の中で聴く》



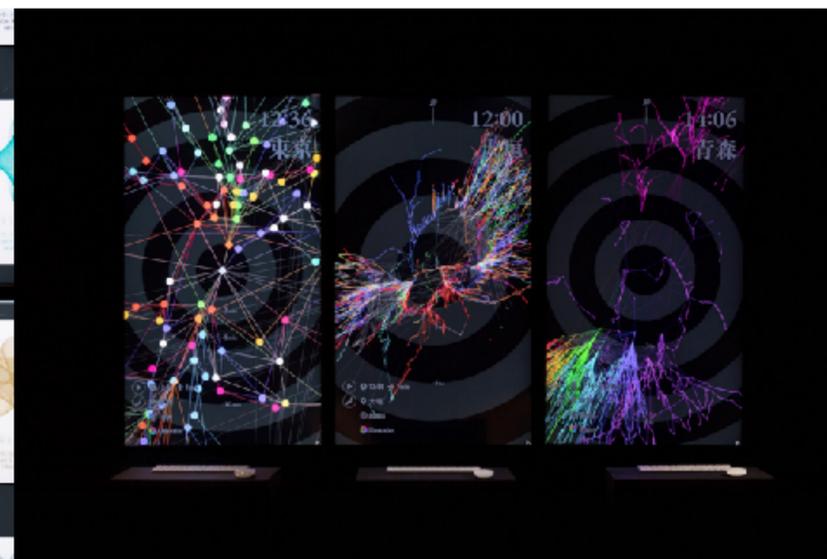
永井歩 《Virtual Hallucinogen》



天野真 《ノイズキャンセリング・フィルターを通して都市の音を聴くということ。》



棕木新 《SPIRO MAKER》



大野正俊 《時間軸時間軸変形地図》

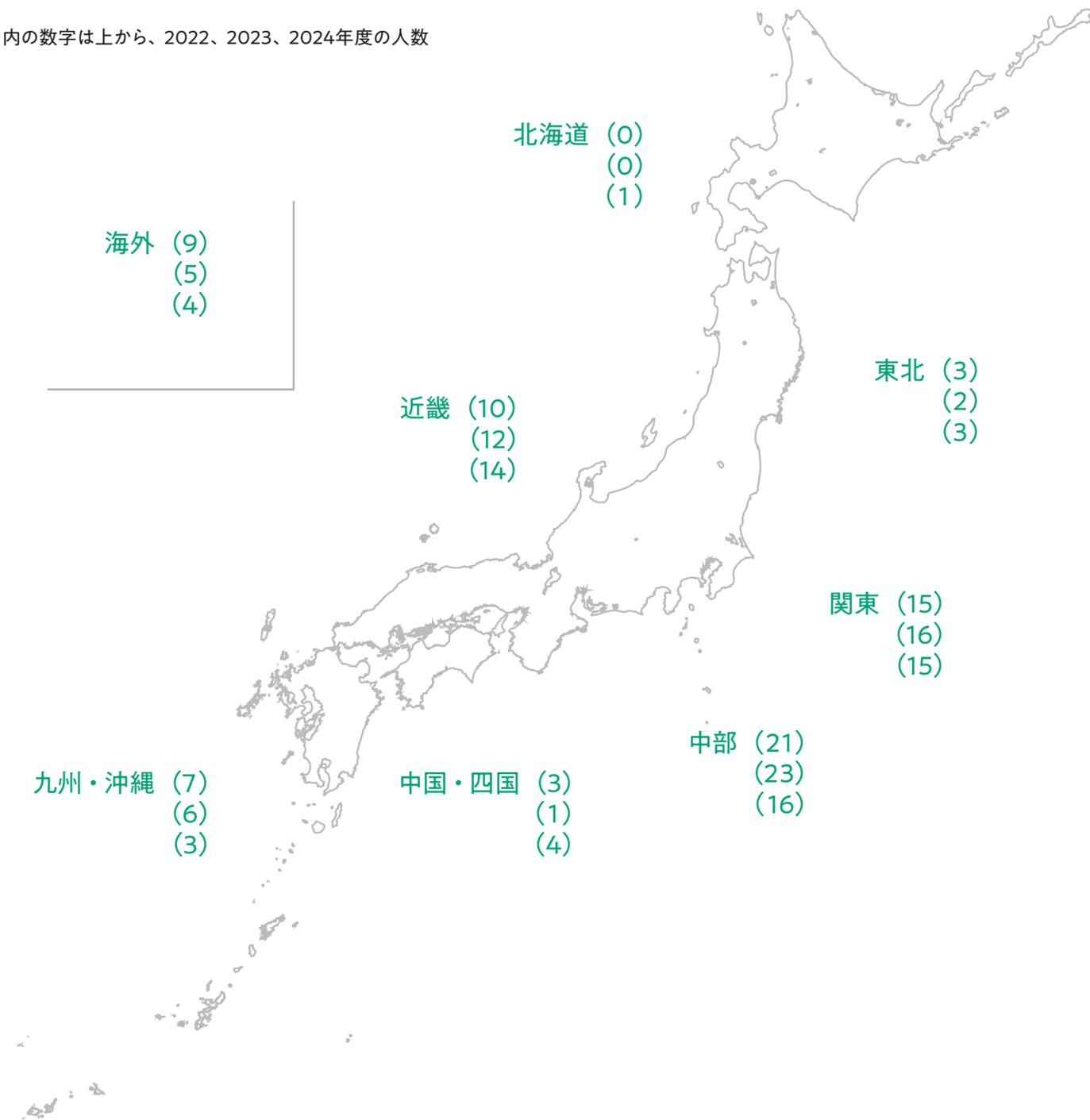


志村翔太 《モバイル文学》

学生情報

出身地

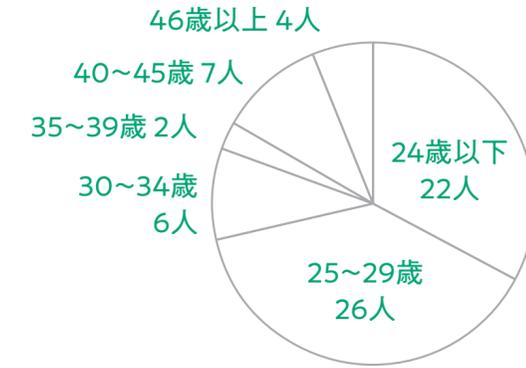
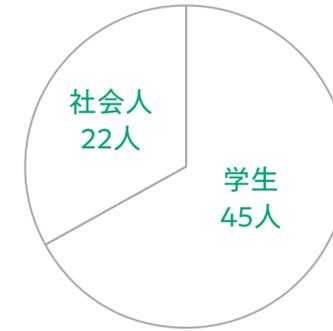
()内の数字は上から、2022、2023、2024年度の人数



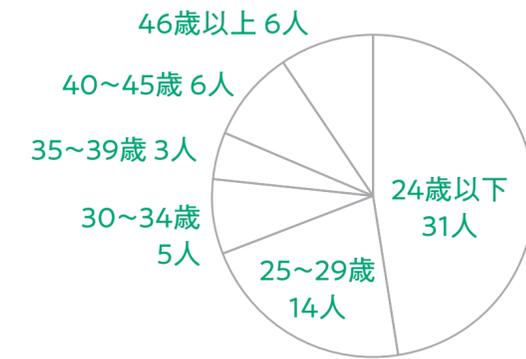
入学時

年齢

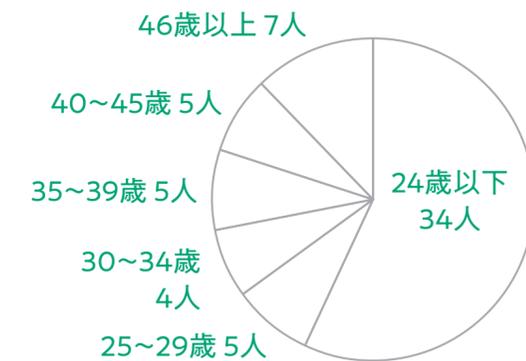
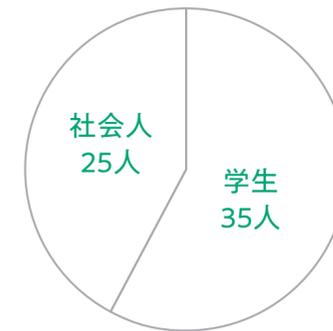
2022年度



2023年度



2024年度



2024年4月1日現在 在籍60名

卒業生の主な進路

就職：一般企業

(株)アマナ
(株)イメージソース
(株)インフォファーム
(株)FBC アドサービス
面白法人カヤック
キャリアオ技研(株)
(株)ケイズデザインラボ
(株)コルグ
(株)サイバーエージェント
(株)新東通信
(株)ソフトデバイス
(株)ゼオ
ソニー(株)
タック(株)
大日コンサルタント(株)
(株)丹青社
チームラボ(株)
(株)電通
(株)桃鶴堂
(株)二番工房
日本システム開発(株)
(株)日本テレビアート
日本放送協会
(株)乃村工藝社
(株)Hakbee Lanka
(株)博報堂プロダクツ
(株)バスキュール
任天堂(株)
ユカイ工学(株)
(株)ライゾマティクス
1→10drive
ANKR DESIGN

BANZAI CREATIVE
N and R Foldings Japan
Noiz Architects
SK テレコム(韓国)
SOLIZE engineering
(株)TAB

就職：文化施設

NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]
京都市芸術文化協会京都芸術センター
高知県立美術館
静岡県舞台芸術センター
せんだいメディアテーク
シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]
長野県大町市地域おこし協力隊
日本科学未来館
都城市立図書館
山口情報芸術センター [YCAM]

就職：教育・研究機関

愛知県立芸術大学
秋田公立美術大学
関西学院大学
京都精華大学
京都造形芸術大学(現: 京都芸術大学)
神戸芸術工科大学
女子美術大学
静岡文化芸術大学
椋山女学園大学
成安造形大学

多摩美術大学
東京藝術大学
同志社女子大学
名古屋音楽大学
名古屋学芸大学
名古屋芸術大学
名古屋造形大学
名古屋文理大学
広島市立大学
武蔵野美術大学

起業

アライアンス・ポート(株)
アイティア(株)
(株)エージーリミテッド
(同)「E」
(株)grasp at the air
グレイセル(株)
(株)GOCCO.
セミトランスペアレントデザイン
(株)ソネル
(有)トリガーデバイス
動画まわり
南原食堂
(株)HAUS
(株)バックスペースプロダクション
(同)マスラックス
(株)間チルダ
(株)メタファー
(株)ライゾマティクス

進学

愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程
大阪大学人間科学研究科博士後期課程
大阪大学人間科学研究科
岐阜大学大学院工学研究科博士後期課程
京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程
慶應義塾大学大学院後期博士課程
筑波大学大学院博士課程
東京藝術大学大学院映像研究科博士課程
東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程
名古屋市立大学大学院博士後期課程
名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程
リンツ美術工芸大学博士課程(オーストリア)
ロイヤルカレッジオブアート(イギリス)

研究環境

- 夏季・冬季・春季休業期間も含め、24時間使える（一部例外あり）
- 他の国公立大学と同様に学費が安く、寮も完備されており、都市部と比較して生活費も低い
- 学生にPC (MacBook Pro) がAdobe CCなど各種ライセンス付きで貸与されるなど、対面とオンラインの両方に対応できる

施設紹介

2つの校舎があるキャンパスは、2014年度からソフトピアジャパンという先進情報産業エリアに移転し、集積企業をはじめ産学連携の新たなイノベーション創出拠点としての役割が期待されています。

学生は、校舎の施設を原則365日・24時間使用し、研究に取り組むことができます。

(図書館、イノベーション工房、金工室、木工室、システム管理室の利用は平日の日中のみ)

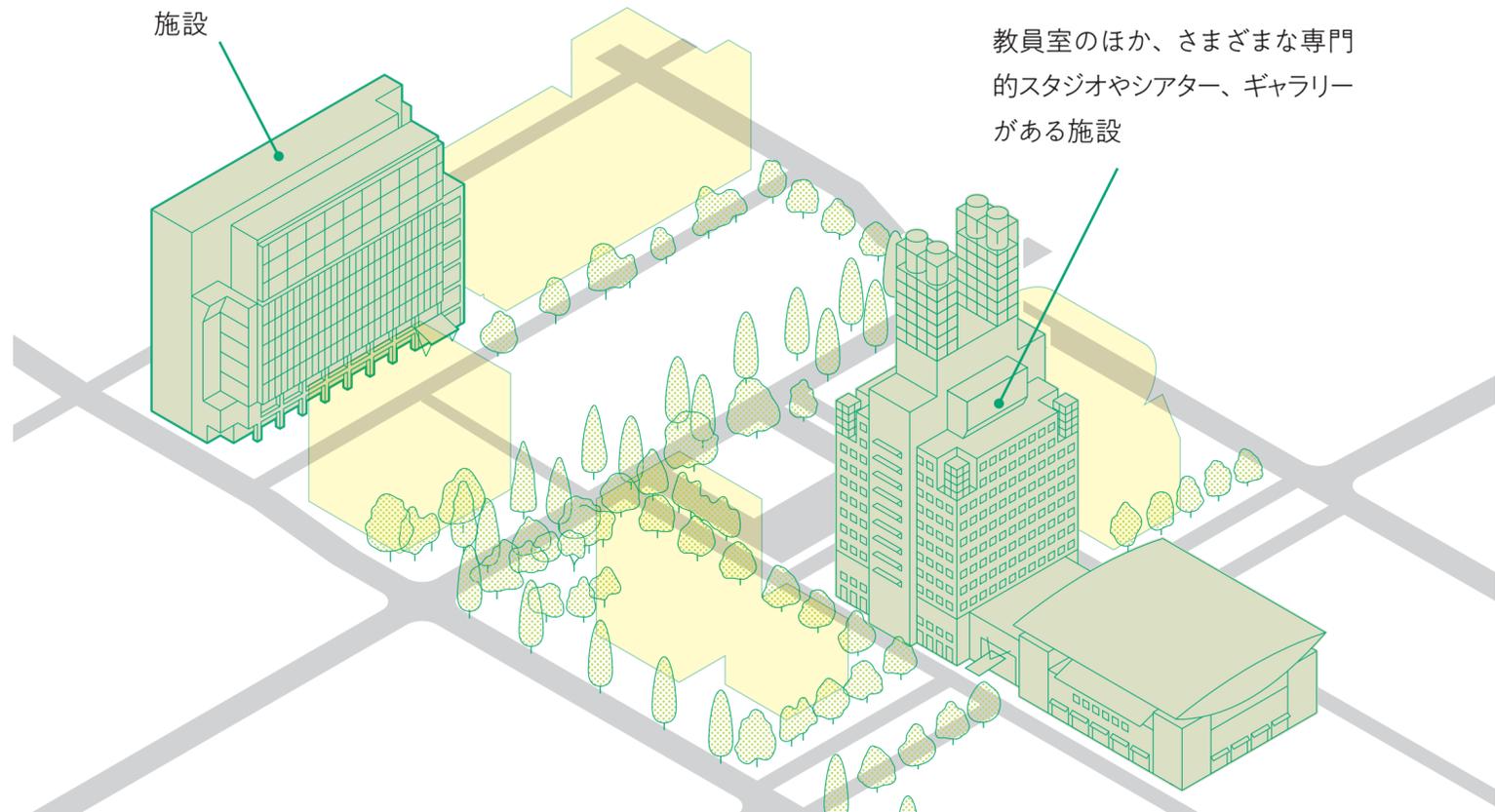
ワークショップ24とソフトピアジャパンセンタービルの3D風図

ワークショップ24

学生の研究スペースとなるロフトやプロジェクト室のほか、イノベーション工房や図書館のある施設

ソフトピアジャパンセンタービル

教員室のほか、さまざまな専門的スタジオやシアター、ギャラリーがある施設



ロフト

ワークショップ24 | 5F

同じフロアで分野や学年をまたいで交流しながら研究制作を行なう共有スペース。個人研究や制作に必要なPCとアプリケーションの貸与と一人一人専用のスペースを確保し、存分に24時間利用できる環境を備えています。

施設紹介



ギャラリー

センタービル | 3F

作品展示のほか、コンサートやワークショップなどにも使用可能な多目的スペースです。



シアター

センタービル | 3F

HDプロジェクターを備えたミニシアターです。映像作品や資料を閲覧できます。ミニレクチャー、プレゼンテーションスペースとしても活用できます。



デザインスタジオ

センタービル | 3F

印刷物の出力・加工を目的とした部屋。カラーレーザープリンタ、大判インクジェットプリンタ、カッティングプロッター、裁断機など、さまざまな制作機器を配備しています。



ビジュアルスタジオ

センタービル | 3F

白ホリゾントの撮影用スタジオ。画像合成のためのブルーバック撮影が可能です。カメラやモニター、ライト、クレーン、ドリー等の撮影用機材一式を備え、ストロボやディフューザーなど写真撮影にも対応しています。



プロジェクト室

ワークショップ24 | 5F

プロジェクトの研究拠点として割り当てられるスペース。規模や内容によって部屋が割り振られ、必要な機材が各部屋に導入されています。

施設紹介



図書館

ワークショップ24 | 1F

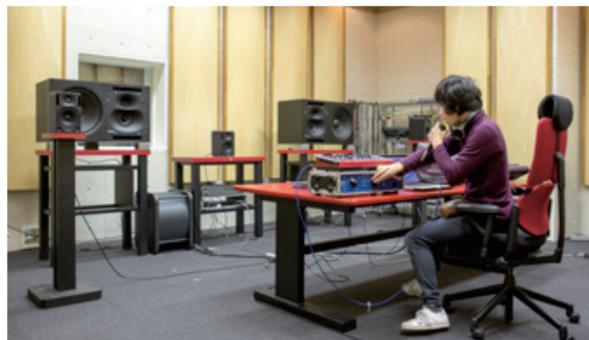
情報と芸術関連の専門書を中心とした資料を所蔵し、ビデオ、DVDなど約3千点の映像資料を視聴することができる豊かな学習環境を提供しています。また公共図書館や他大学図書館とも連携し、情報と知識で研究を支援します。



イノベーション工房

ワークショップ24 | 1F

3Dプリンターやレーザー加工機、CNCなどのデジタル工作機械や、3Dモデリング機器を備えた工房。見たり、触れたり、感じたりできるプロトタイプをつくりながら、アイデアを発展させる拠点です。



サウンドスタジオ センタービル | 3F

残響調整板が備った音楽用の部屋です。楽器演奏の練習や録音に適しています。ピアノや数種類の楽器を備えています。またナレーション録音などにも活用されています。



カフェ ワークショップ24 | 5F

小規模なレクチャーやワークショップ、ミーティングなど、自由に使うことができるカフェスタイルのオープンスペースです。



学生寮 [RIST]

IAMASから大垣駅の間(約1.1km)の住宅街に位置し、ユニットバス、ベッド、電気調理器具、駐車場など快適さと機能性を備えています。なお、令和6年度から、段階的に本学に隣接する県営住宅ソピアフラッツに移行します。



県営住宅 ソピア・フラッツ

ソピア・フラッツは、ソフトピアジャパン地域内にあり、安全・安心・快適な住居環境です。IAMAS校舎であるワークショップ24の8階から10階にあり、学生環境と居住環境を行き来しやすく便利な立地となっています。



木工室 ワークショップ24 | 1F

昇降盤、パネルソー、サンダー、糸ノコ盤等の機器が揃っており、一般的な木材加工が可能です。



金工室 ワークショップ24 | 1F

金工のための機器が揃っており、軟鉄やステンレス、アルミニウム等の加工や溶接が可能です。



所在地 大垣市藤江町1丁目1-7
部屋数 全40室(洋間)
間取り 1K(約9畳)
寮費 22,800円(共益費別)

寮室内の設備等

浴室、トイレ、洗面所、キッチン(流し台、IH調理器)、ベッド(収納付き)、クローゼット、エアコン、照明器具、室内洗濯機置き場、バルコニー(物干し台付き)、カーテン



所在地 大垣市今宿6-52-18
WORKSHOP 24内 8-10階
間取り 1DK
寮費 29,700円(共益費別)

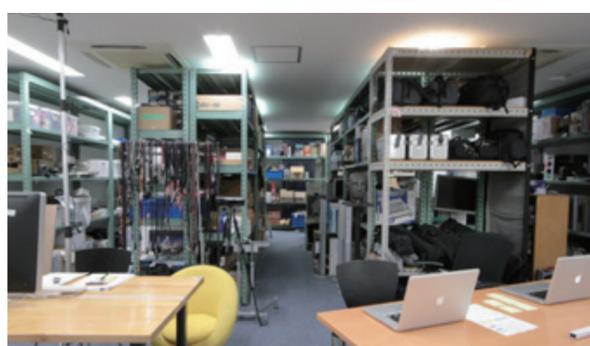
寮室内の設備等

浴室、トイレ、キッチン(流し台、ガス)、ベッド、クローゼット、エアコン、照明器具、室内洗濯機置き場、カーテン、バルコニー
オートロック、バイク・自転車置き場



仮眠室 センタービル | 2F

仮眠を取ることができる和室です。研究活動で疲れた身体をいやすます。



システム管理室 ワークショップ24 | 3F

デジタル一眼カメラ、HDビデオカメラ、マイクなどの記録用機材、ノートPC、デスクトップPC、液晶ディスプレイ

産業文化研究センター[RCIC]

イアマスこどもだいがく

「イアマスこどもだいがく」は、IAMASの研究や設備を用いた子ども向け講座で、2017年より大垣市と連携し、毎年開催しています。様々なメディアを使用したユニークな表現体験を通して、子どもたちのテクノロジーを多様に活用する力、ひいては新しい「もの」や「こと」を創造する力の育成を目指しています。8年目となる2024年は、糸電話を使って通信の仕組みを学ぶとともに、コミュニケーションについて考えるワークショップ「もしもしワールド」を実施しました。ワークショップの企画・運営は、昨年度から引き続き、博士前期課程プロジェクト演習「Collaborative Design Research Project」(担当教員:鈴木宣也教授、赤羽亨教授)が一環して行いました。



ワークショップ「もしもしワールド」を体感する参加者

子ども向け講座「空宙博ジュニア宇宙博士認定講座」のトータルデザインとAR教材コンテンツ活用に関する研究

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(愛称:空宙博 そらはく)では、2022年から子ども向け講座「空宙博ジュニア宇宙博士認定講座」のデザインをIAMASの施設「イノベーション工房」およびIAMAS卒業生のデザイナーと連携して展開しています。今年度は、学習テーマである「宇宙開発」および「月面探査」をモチーフに、トータルデザインを意識した教材の開発に取り組むとともに、「宇宙開発」および「月面探査」を体感するコンテンツとして、月面をARを通して学習・鑑賞するシステムを設計し、空宙博と協働してワークショップを運営しました。



AR教材を通して「月面探査」を体感する参加者

広報・情報アーカイブ活動

「Kiosk」をもちいた展示型広報

本学の活動紹介などの広報活動を展示するシステム「Kiosk」を、卒業生のデザインコレクティブ「LAP」と協働してデザインおよび運営を行っています。今年度は「IAMAS OPEN HOUSE 2024」、「IAMAS2025」でスポット展示を行うとともに、文化施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」との共同研究の成果展示にも活用しました。

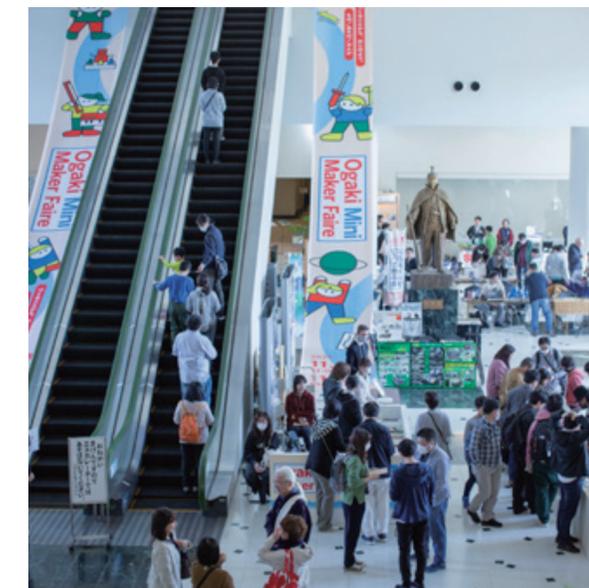


Kioskを使った展示型広報

文化活動

Ogaki Mini Maker Faire 2024

様々な分野のつくり手「Maker(メイカー)」たちが全国から集まり、つくったものを見せ、語り、楽しみを分かち合うメイカームーブメントのローカル版祭典「Ogaki Mini Maker Faire」。2010年に開催した前身となるイベントから数えて、今年で8回目となる今回は、前回に引き続き「つくることから、はじめよう。もの/あそび/ぶんか」をテーマに掲げ、地方開催ならではのゆったりとした空間と雰囲気大切にしながら、プレイベントを事前に〈メタバース〉会場でも開催するなど、新たな参加のあり方も提供しました。現地およびメタバース会場での参加者は延べ5,000名を超え、参加者同士でものづくりの楽しさや親しみを共有しました。



会場風景(1階)

学費

- 学生（博士前期課程および博士後期課程）
 - 入学検定料：30,000円
 - 入学金：338,000円 226,000円（岐阜県に在住の方）
 - 授業料：年額535,800円

奨学金・交換留学制度

- **奨学金制度（博士前期課程対象）**
 - 情報科学芸術大学院大学特別給費生報償金（1年次1名、2年次1名）
 - 大垣市情報科学芸術大学院大学報奨金（2年次1名）
- **交換留学制度**
 - リンツ美術工芸大学（オーストリア）（1年次1名、2年次1名）

研究教育の特色

1. プロジェクトを主軸とした社会的実践
2. 多分野の教員によるチーム・ティーチング
3. 専門的かつ総合的知識と技術を習得する充実したカリキュラム

本学におけるプロジェクト

- 社会と接続した協働活動により高度な研究成果を目指す研究活動
- 博士前期課程(修士)では教員が立案・運営
- 博士後期課程(博士)では学生が立案して教員の指導の下で運営

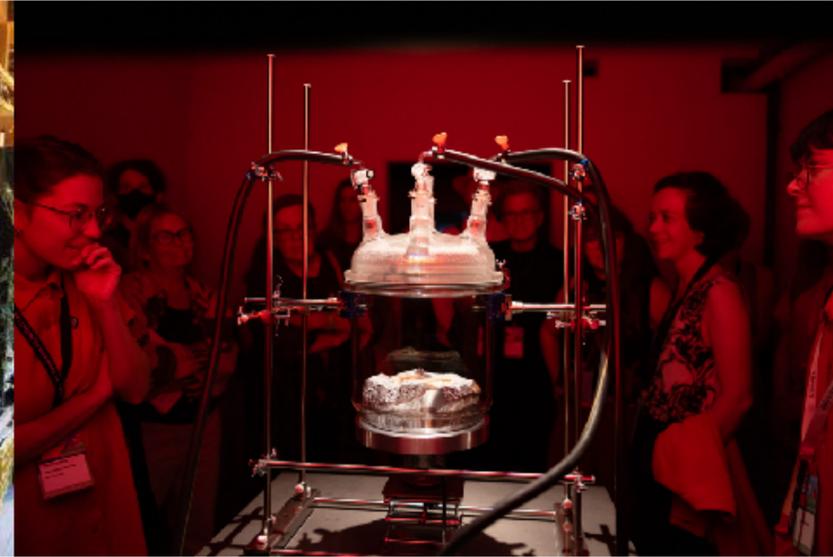
プロジェクト実習(2025年度博士前期課程の場合)



Augmented State Project



The Art of Listening



Extreme Biologies



テクノロジーの〈解釈学〉



運動体設計



場所・感覚・メディア



Collaborative Design Research Project

本学におけるチーム・ティーチング

1. 研究室制ではないため、研究室の壁がない
2. 3名の教員（主指導教員：1名＋副指導教員：2名）で中心となるチームを構成
3. 中心となるチーム以外の教員全員もチームとなって指導

教員紹介



学長・教授

鈴木 宣也

研究分野:インタラクシオンデザイン



研究科長・教授

松井 茂

研究分野:詩、映像メディア学



産業文化研究センター長・教授

赤羽 亨

研究分野:インタラクシオンデザイン



研究科長・教授

赤松 正行

研究分野:クリティカル・サイクリング



教授

金山 智子

研究分野:メディア・コミュニケーション



教授

クワクボリョウタ

研究分野:メディアアート



教授

小林 茂

研究分野:テクノロジーの哲学



教授

小林 孝浩

研究分野:情報システム工学



教授

平林 真実

研究分野:コミュニケーションシステム



教授

前田 真二郎

研究分野:映像表現

教員紹介



教授

前林 明次

研究分野:メディア・アート



教授

山田 晃嗣

研究分野:情報工学



教授

吉田 茂樹

研究分野:技術の社会利用



准教授

大久保 美紀

研究分野:美学



准教授

菅 実花

研究分野:現代美術



准教授

瀬川 晃

研究分野:グラフィックデザイン



准教授

飛谷 謙介

研究分野:情報工学



准教授

ホアン・マヌエル・カストロ

研究分野:メディア・アート



講師

立石 様子

研究分野:メディア論

教員紹介(特別非常勤講師)

会田大也(山口情報芸術センター[YCAM])

狩野 幹人(三重大学 研究・社会連携統括本部、大学院地域イノベーション学研究科)

木村悟之(映像作家、フォトグラファー、映像ワークショップ合同会社)

四方幸子(キュレーター、十和田市現代美術館、美術評論家連、対話と創造の森、多摩美術大学、東京造形大学)

原島大輔(立教大学 現代心理学部 映像身体学科)

平井靖史(慶應義塾大学文学部)

廣瀬周士(フリーランス、sketch on主宰)

椋木 新(エンジニア、ローランド ディー・ジー・株式会社)

博士前期課程(修士)

修了要件

- 2年間在学、特例で1年間在学
- 30単位取得
- 修士作品と修士論文、または修士論文のみ

修士作品

- 展示や上演の形式によって審査される作品
- 研究に伴う制作物

修士論文

- **修士論文のみの場合**
 - 概要1ページ(日本語・英語)
 - 本文50ページ程度
- **修士作品+修士論文の場合**
 - 概要1ページ(日本語・英語)
 - 本文25ページ程度
- **1ページの目安**
 - A4用紙、和文1,000文字、英文500ワード

科目構成

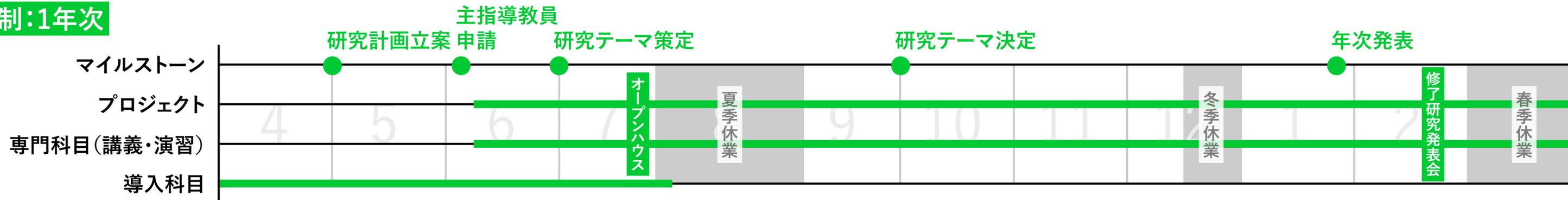
導入科目 (演習+講義) すべて必修	総合科目 (講義) 2科目以上選択	専門科目 (講義) 3科目以上選択	制作演習科目 (演習) 制作基礎必修+1科目以上選択	プロジェクト科目 (実習) 1年時必修	特別研究科目 (ゼミ・個別指導) すべて必修
メディア表現基礎1 (導入) ●	総合学1 (総論) ・ 2 (展開) ・ 3 (各論)	メディア表現特論A (環境)	制作基礎 ●	プロジェクト実習 1A/1Ai ●	特別研究 1A/1Ai ●
メディア表現基礎2 (理解) ●		メディア表現特論B (応答)	制作演習A (設計)	プロジェクト実習 1B/1Bi ●	特別研究 1B/1Bi ●
メディア表現基礎3 (制作) ●		メディア表現特論C (概念)	制作演習B (技術)	プロジェクト実習 2A ▽	プロジェクト実習 2A ●▽
メディア表現基礎4 (計画) ●		メディア表現特論D (造形)	制作演習C (造形)	プロジェクト実習 2B ▽	特プロ弱と実習 2B ●▽
		メディア表現特論E (設計)			

●…必修科目 / ▽…2年次科目

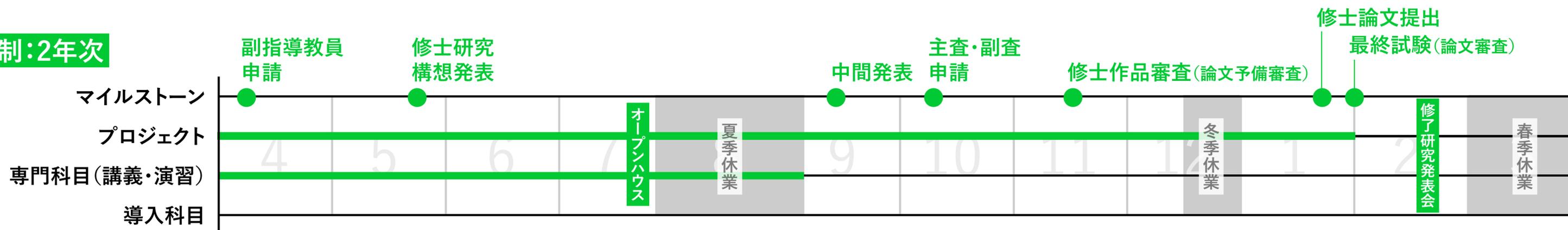
博士前期課程(修士)スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

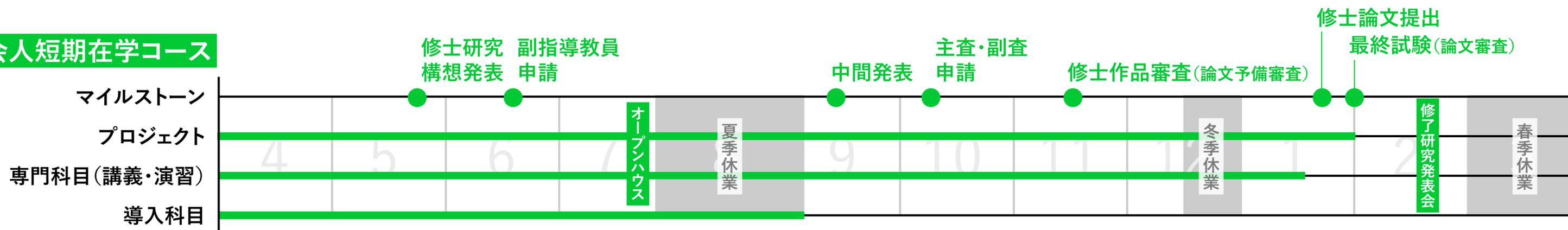
2年制:1年次



2年制:2年次



社会人短期在学コース



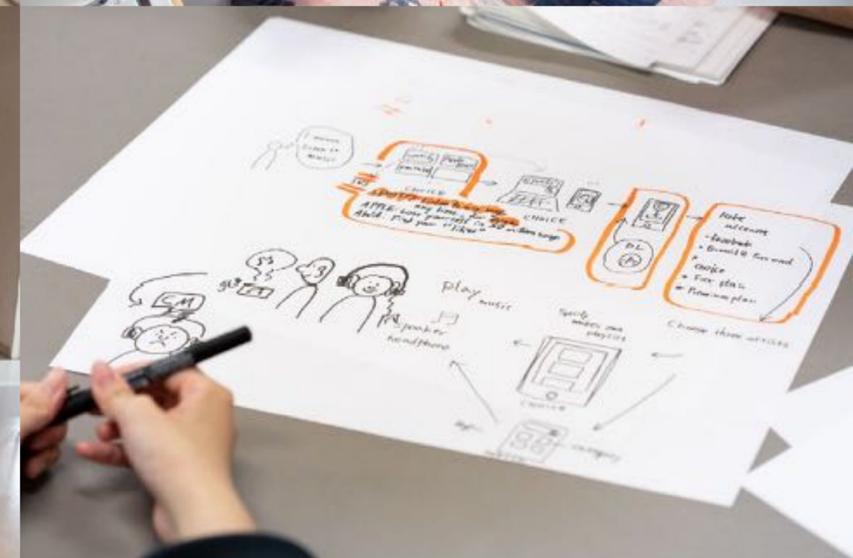
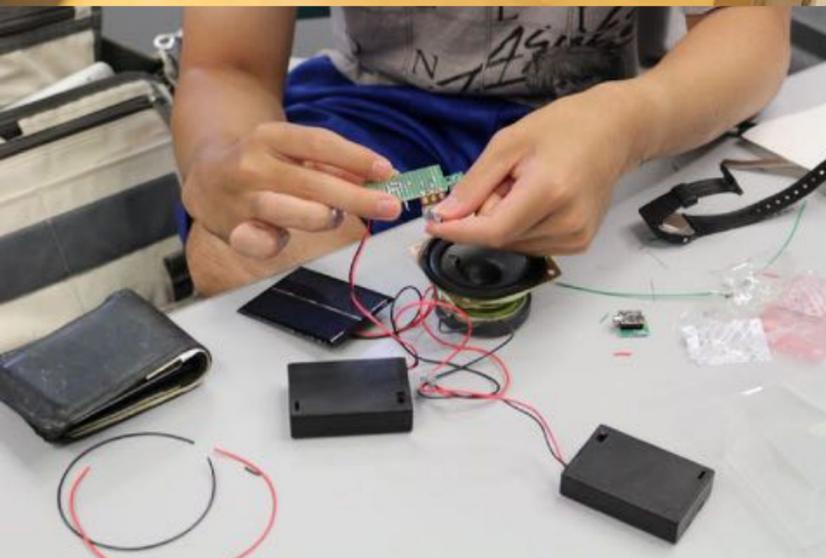
受験前: 研究テーマ・主指導教員策定



講義・特別研究



制作演習



博士後期課程(博士)

修了要件

- 3年間在学
- 16単位取得
- 博士論文提出資格
- 博士論文

科目構成

導入科目 (講義) <u>メディア表現研究は必修</u>	プロジェクト科目 (実習) <u>すべて必修</u>	特別科目研究 (ゼミ・個別指導) <u>すべて必修</u>
メディア表現研究I ●	プロジェクト研究I ●	メディア表現特別研究I ●
メディア表現研究II ●	プロジェクト研究II ●▽	メディア表現特別研究II ●▽
知的財産権特論		メディア表現特別研究III ●◇

●…必修科目 / ▽…2年次科目 / ◇…3年次科目

博士論文提出資格

- 査読付き論文2編＋国際会議発表1回
- 査読付き論文1編＋コンテスト入賞1回＋国際会議発表1回
- 単著出版1編＋国際会議発表1回
- ユニークな研究業績＋国際会議発表1回

※作品は資格対象ではありません

ディプロマ・ポリシー

1. 専門性を有しながら科学的知性と芸術的感性を融合し、自立した教育研究者・芸術家・実務家として、自立して研究活動を推進する研究遂行力を身に付けたか。
2. 研究領域によらず様々な分野を専門とする人々へ積極的に関わり合い、領域横断しながら、その交流の中から生み出される「新しい知」の在り方を身につけ、プロジェクトの企画から実践まで遂行することができたか。
3. 高い倫理性と強い責任感を意識し、研究が現代社会の諸課題に対する応答としての成果を得、メディア表現に関する研究実践から導かれた理論化・体系化の成果を論文へまとめ、それら成果を広く社会へ発信することができたか。

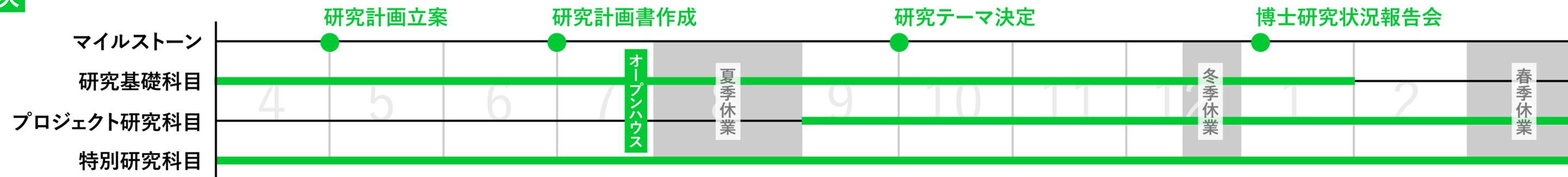
プロジェクト研究I・II

- 学生が立案し、主指導教員の指導の下で運営
- プロジェクト研究Iの期間に研究計画を提出し、審査を経て学内研究予算(過去の例では最高30万円)を獲得し、プロジェクト研究IIの期間に運用
- 博士前期課程学生の履修対象ではない

博士後期課程(博士)スケジュール

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

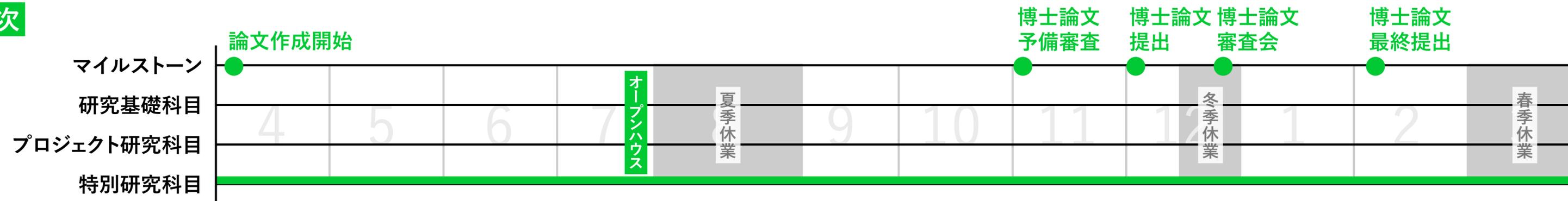
1年次



2年次



3年次



博士前期課程（修士）入試

博士前期課程(修士)入試について

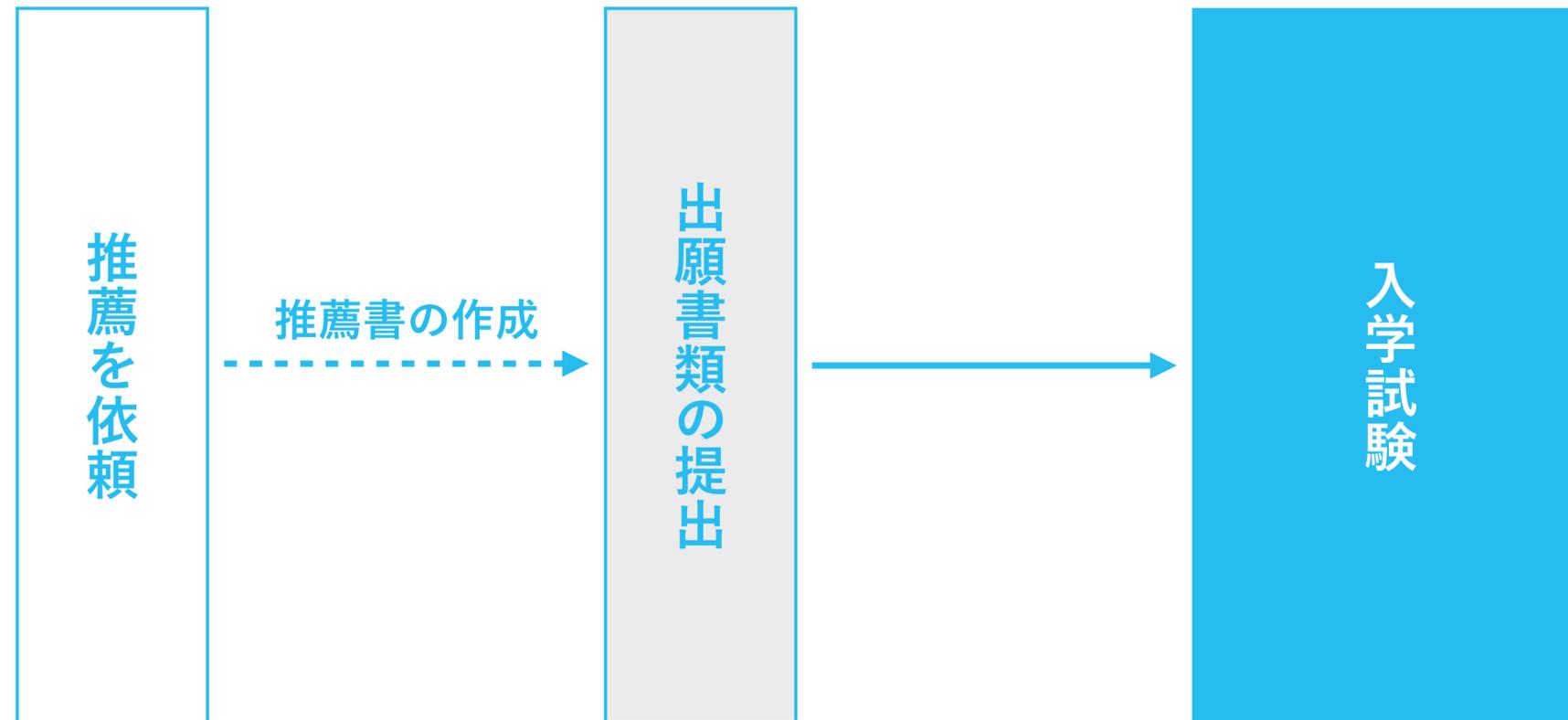
- **2年制コース**
 - 推薦入試
 - 一般入試
- **1年制コース**
 - 社会人短期在学コース入試

2026年度の最新情報・募集要項はこちら→



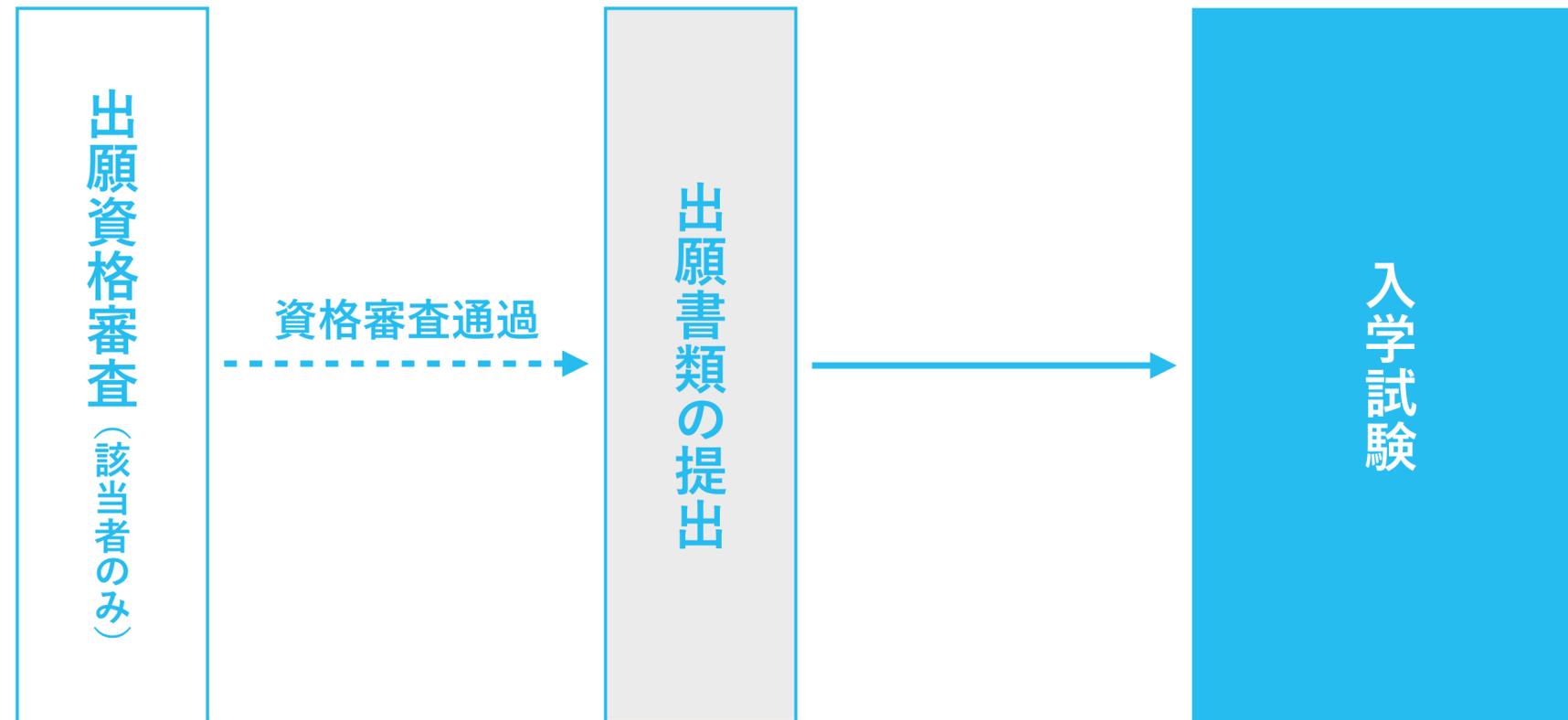
推薦入試(6月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:10分+質疑応答:20分)



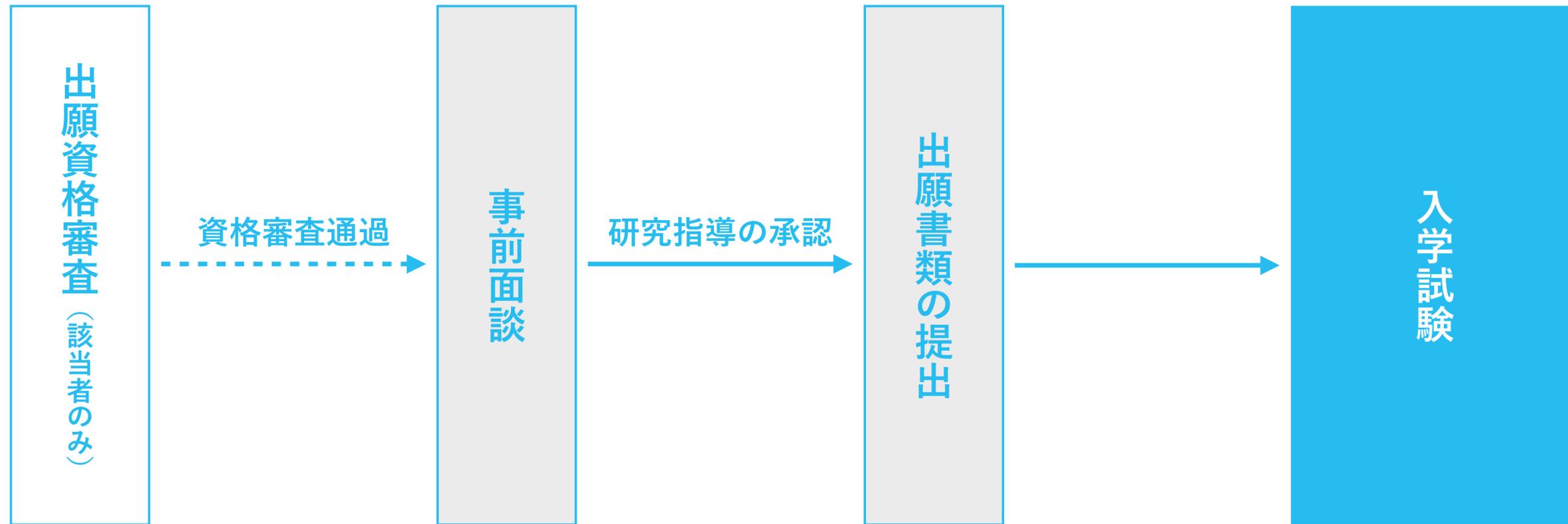
一般入試(10・2月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:5分+質疑応答:20分)



社会人短期在学コース入試(6・10・2月)

1. 書類審査
2. 面接試験(プレゼン:10分+質疑応答:20分)



※10・2月入試のみ

募集要項・願書等について(一般入試)

9 入学試験

(※非常変災等が予測される場合、入学試験日等を延期する可能性がある。)

入学試験日

第1回入学試験

2025年10月4日(土)

第2回入学試験

2026年1月31日(土)

実施方法

オンラインで実施(入学試験当日までに事前接続確認テストを行う。)

※実施の方法、事前接続確認テストについては、出願後に本学教務課より案内文書を送付する。

面接審査の日程と詳細

面接審査(オンライン)

※面接開始時間やオンライン面接の接続情報については、出願後に本学教務課より受験票とともに案内する。

- ・所要時間25分のうち、プレゼンテーション5分、質疑応答20分とする。使用する言語は日本語または英語から出願時に選択する。なお、日本語を選択した場合、英語能力を確認するための英語による質問(英語で答える)を行う。英語を選択した場合、日本語能力を確認するための英語の質問(英語で答える)を行う。
- ・審査Ⅰ出願者は、プレゼンテーションの中で、所属組織における自分の活動内容について述べること。
- ・審査Ⅱ出願者は、プレゼンテーションの中で、自分の制作した作品や活動について述べること。

募集要項・願書等について(推薦入試)

9 面接審査

(※非常変災等が予測される場合、入学試験日等を延期する可能性がある。)

入学試験日 (面接審査)

2025年6月21日 (土)

実施方法

オンラインで実施 (入学試験当日までに事前接続確認テストを行う。)

※実施の方法、事前接続確認テストについては、出願後に本学教務課より案内文書を送付する。

面接審査の日程と詳細

面接審査 (オンライン)

※面接開始時間やオンライン面接の接続情報については、出願後に本学教務課より受験票とともに案内する。

- ・所要時間 30 分のうち、プレゼンテーション 10 分、質疑応答 20 分とする。使用する言語は日本語または英語から出願時に選択する。なお、日本語を選択した場合、英語能力を確認するための英語による質問 (英語で答える) を行う。英語を選択した場合、日本語能力を確認するための日本語による質問 (日本語で答える) を行う。
- ・審査Ⅰ出願者は、プレゼンテーションの中で、所属組織における自分の活動内容について述べること。
- ・審査Ⅱ出願者は、プレゼンテーションの中で、自分の制作した作品や活動について述べること。

募集要項・願書等について(社会人短期在学コース入試)

9 入学試験

(※非常変災等が予測される場合、入学試験日等を延期する可能性がある。)

入学試験日	社会人短期在学コース 第1回入学試験 2025年6月21日(土)	社会人短期在学コース 第2回入学試験 2025年10月4日(土)	社会人短期在学コース 第 3回入学試験 2026年1月31日(土)
-------	--	--	---

実施方法	オンラインで実施(入学試験当日までに事前接続確認テストを行う。) ※実施の方法、事前接続確認テストについては、出願後に本学教務課より案内文書を送付する。
------	---

入学試験日の日程と詳細	面接審査(オンライン) ※面接開始時間やオンライン面接の接続情報については、出願後に本学教務課より受験票とともに案内する。
-------------	--

- ・所要時間 30分のうち、プレゼンテーション10分、質疑応答20分とする。使用する言語は日本語または英語から出願時に選択する。なお、日本語を選択した場合、英語能力を確認するための英語による質問(英語で答える)を行う。英語を選択した場合、日本語能力を確認するための日本語による質問(日本語で答える)を行う。
- ・審査Ⅰ出願者は、プレゼンテーションの中で、所属組織における自分の活動内容について述べること。
- ・審査Ⅱ出願者は、プレゼンテーションの中で、自分の制作した作品や活動について述べること。

博士後期課程(博士)入試

募集要項・願書等について(社会人短期在学コース入試)

9 入学試験

(※非常変災等が予測される場合、入学試験日等を延期する可能性がある。)

入学試験日	博士後期課程 第1回入学試験 2025年6月22日(日)	博士後期課程 第2回入学試験 2025年10月5日(日)	博士後期課程 第3回入学試験 2026年2月1日(日)
実施方法	オンラインで実施(入学試験当日までに事前接続確認テストを行う。 ※実施の方法、事前接続確認テストについては、出願後に本学教務課より連絡する。		
入学試験日の日程と詳細	面接審査(オンライン) ※面接開始時間は、出願後に本学教務課より連絡する。 ・所要時間 45分のうち、プレゼンテーション15分、口頭試問30分とする。なお、主要な言語は日本語とし、必要に応じて英語を使用する。 ・本学を志望するに至った理由と本学に入学した場合、どのような研究を、どのように行いたいと考えているかについて、背景、目的、意義、関連研究、手法、プロジェクト研究の構想を含めプレゼンテーションの中で述べること。 ・これまでの研究や活動の成果、博士号を授与された後の展望についてもプレゼンテーションの中で述べること。		

今後の進学関連イベント

- 個別面談(随時)
 - フォームからの申し込みにより随時受付
 - 対面またはオンラインから選択

入試に関する情報はこちらのQRコードから →

